

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全社会資本整備交付金)

令和元年 8月13日

計画の名称	滝沢市における循環のみちの実現(防災・安全)							重点配分対象の該当	-					
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)			交付対象	滝沢市									
計画の目標	下水道施設の整備・改築・更新を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
計画の成果目標 (定量的指標)	①巢子川右岸第二・第三排水区雨水函渠の整備率を48%(H27当初)から92%(H29末)に増加させる。 ②管渠の長寿命化対策実施率0%(H27当初)を100%(H31末)に増加させる。 ③取付管及び人孔蓋の改築更新実施率0%(H27当初)を100%(H31末)に増加させる。 ④マンホールポンプの更新実施率0%(H27当初)を100%(H31末)に増加させる。													
定量的指標の定義及び算定式	合計 (A+B+C+D)			477百万円	A	477百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0%

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
											H27	H28	H29	H30	H31				
都南処理区																			
A-1-1	下水道	一般	滝沢市	直接	滝沢市	管きよ(雨水)	新設	幹線・枝線(浸水対策)	L=555m	滝沢市						194	-	-	
A-1-2	下水道	一般	滝沢市	直接	滝沢市	管渠(汚水)	改築	管渠等(改築更新)(都南処理区)	管渠L=324m、人孔蓋N=76箇所、取付管N=40箇所、MP N=2箇所	滝沢市						252	-	策定済	長寿命化及びストックマネジメント
A-1-3	下水道	一般	滝沢市	直接	滝沢市	管渠(汚水)	改築	管渠等(改築更新)	計画策定	滝沢市						15	-	-	
A-1-4	下水道	一般	滝沢市	直接	滝沢市	-	-	基本的な計画見直し	雨水計画の見直し	滝沢市						16	-	-	
											合計					477			

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	備考
										H27	H28	H29	H30	H31			
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																	

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
C 効果促進事業(該当なし)																

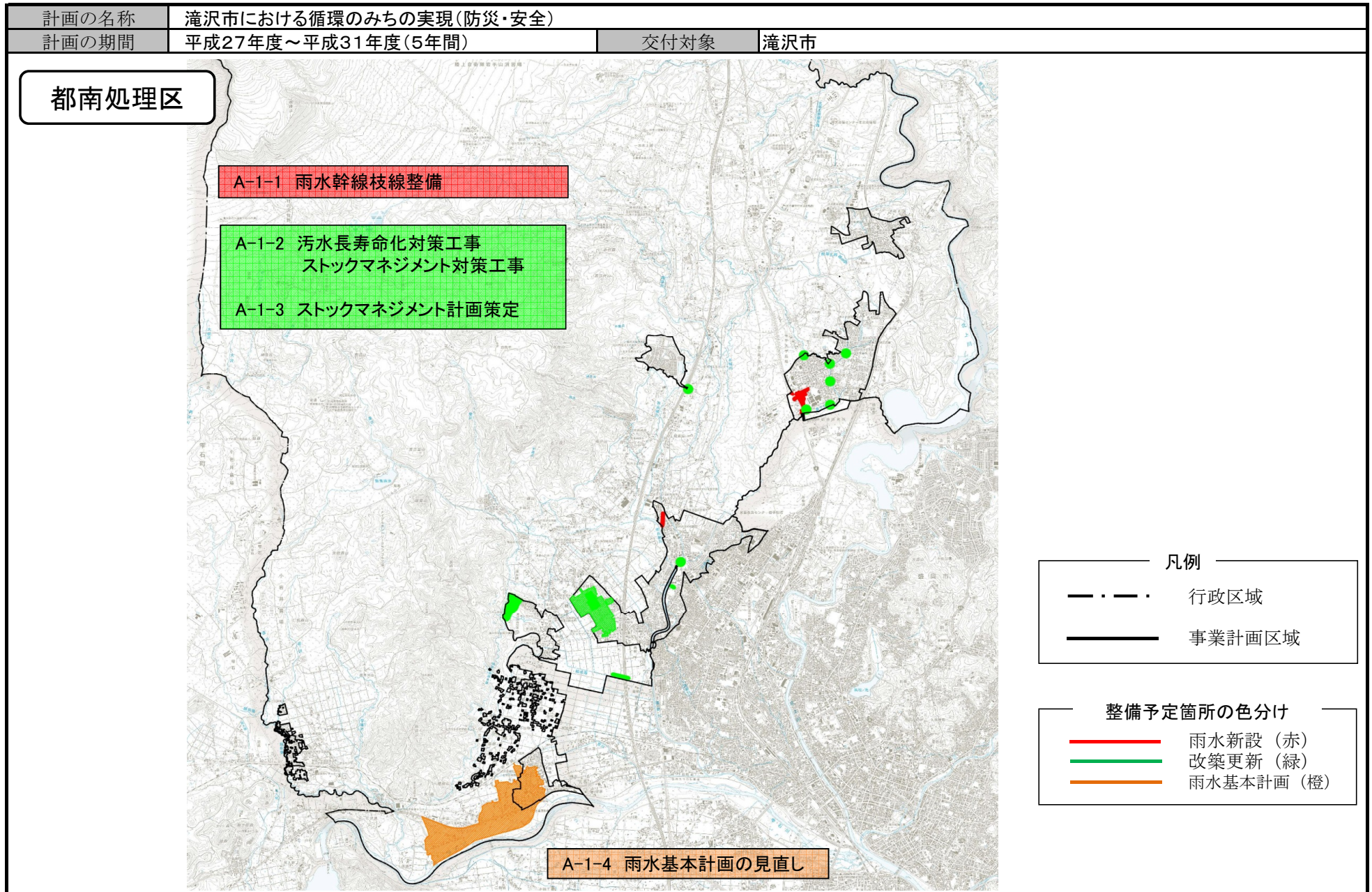
番号	一体的に実施することにより期待される効果															
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業(該当なし)																

交付金の執行状況 (単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	93,000	34,000	39,000	38,493	
計画別流用増△減額 (b)	0,000	0,000	7,8500	35,000	
交付額 (c=a+b)	93,000	34,000	46,850	73,493	
前年度からの繰越額 (d)	0,000	24,800	0,000	13,700	
支払済額 (e)	68,200	58,800	33,150	34,019	
翌年度繰越額 (f)	24,800	0,000	13,700	41,974	
うち未契約繰越額 (g)	24,800	0,000	13,700	41,974	
不用額 (h = c+d-e-f)	0,000	0,000	0,000	0,000	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	26.7%	0.0%	29.2%	48.1%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	他工事との工程調整による着手時期の遅れ、及び、翌年度への工事発注見送りのため。				
	用地買収の地権者交渉が難航し翌年度へ工事発注を見送るため。				
	施設のカメラ調査結果から、工事の施工にあたり工法選定等の改築計画等作成の必要が生じたため。				

(参考様式3) (参考図面)



社会資本整備総合交付金チェックシート

(下水道事業タイプ)

計画の名称: 滝沢市における循環のみちの実現 (防災・安全)

市町村名: 滝沢市

チェック欄

I. 目標の妥当性

①上位計画との適合等

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1) 都道府県構想(見直し予定を含む)に適合している。 | ○ |
| 2) 流域下水道事業と整合性が確保されている。(流域関連公共下水道のみ) | ○ |
| 3) 市町村独自の下水道整備計画と整合性が確保されている。 | ○ |

②目標値および内容の妥当性

- | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| 1) 計画人口は適正な数値となっている。(人口普及率等を目標とした場合) | ○ |
| 2) 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。
該当するものに○
◎ 施設の長寿命化対策
・ 合流改善
・ 浸水対策
・ 処理場の増設
・ 汚泥処理施設
・ 地震対策 | ○ |

II. 整備計画の効果・効率性

③目標と事業内容の整合性等

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。 | ○ |
| 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。 | ○ |
| 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。 | ○ |
| 4) 指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。 | ○ |
| 5) 下水道整備が、他の汚水処理施設の設置より優位となっている。 | ○ |

④事業の効果

- | | |
|----------------------------------------|---|
| 1) 十分な事業効果が得られる事業で構成されている。 | ○ |
| 2) 河川等の水質改善に効果がある。 | ○ |
| 3) 地震、降雨等により生じる災害を防止する施設を設置する計画となっている。 | - |

III. 整備計画の実現可能性

⑤計画の具体性

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 1) 市町村独自の中期計画に基づいた計画になっている。 | ○ |
| 2) 都道府県構想により定められた目標と整合する計画になっている。 | ○ |
| 3) 継続的な汚水処理(雨水処理)の展開が見込まれる。 | ○ |
| 4) 地域の実状に応じた計画になっている。 | ○ |

⑥円滑な事業執行の環境

- | | |
|-------------------------|---|
| 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。 | ○ |
| 2) 事業実施のための環境整備が図られている。 | ○ |
| 3) 下水道法の事業認可を取得している。 | ○ |